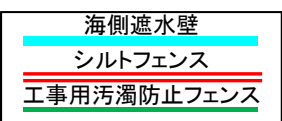


港湾内における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)



『最高値』→『直近(11/18-11/26採取)』の順、単位(ベクレル／リットル)、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

出典: 東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
<http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html>

セシウム-134	: 3.3 (H25/10/17) → ND(0.35)	1/9以下
セシウム-137	: 9.0 (H25/10/17) → 0.81	1/10以下
全ベータ	: 74 (H25/ 8/19) → ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 67 (H25/ 8/19) → 1.8	1/30以下

セシウム-134	: ND(0.50)	
セシウム-137	: 1.8	
全ベータ	: 15	
トリチウム	: 2.5 ※1	

セシウム-134	: 3.3 (H25/12/24) → ND(0.43)	1/7以下
セシウム-137	: 7.3 (H25/10/11) → 0.69	1/10以下
全ベータ	: 69 (H25/ 8/19) → ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 68 (H25/ 8/19) → ND(1.6)	1/40以下

セシウム-134	: 4.4 (H25/12/24) → ND(0.25)	1/10以下
セシウム-137	: 10 (H25/12/24) → 0.53	1/10以下
全ベータ	: 60 (H25/ 7/ 4) → 14	1/4以下
トリチウム	: 59 (H25/ 8/19) → 1.9	1/30以下

セシウム-134	: 3.5 (H25/10/17) → ND(0.29)	1/10以下
セシウム-137	: 7.8 (H25/10/17) → 0.36	1/20以下
全ベータ	: 79 (H25/ 8/19) → ND(13)	1/6以下
トリチウム	: 60 (H25/ 8/19) → ND(1.7)	1/30以下

セシウム-134	: 5.0 (H25/12/2) → ND(0.34)	1/10以下
セシウム-137	: 8.4 (H25/12/2) → ND(0.31)	1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19) → ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 52 (H25/8/19) → 1.9	1/20以下

セシウム-134	: 32 (H25/10/11) → ND(0.53)	1/60以下
セシウム-137	: 73 (H25/10/11) → 2.9	1/20以下
全ベータ	: 320 (H25/ 8/12) → 16	1/20以下
トリチウム	: 510 (H25/ 9/ 2) → 3.7	1/100以下

シルトフェンスの位置変更により、H29.2.11から試料採取地点を南に50m移動

セシウム-134	: 2.8 (H25/12/2) → ND(0.56)	1/5以下
セシウム-137	: 5.8 (H25/12/2) → ND(0.37)	1/10以下
全ベータ	: 46 (H25/8/19) → 15	1/3以下
トリチウム	: 24 (H25/8/19) → ND(2.6)	1/9以下

セシウム-134	: 0.87	
セシウム-137	: 13	
全ベータ	: 22	
トリチウム	: 27 ※1	

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

令和元年11月27日までの東電データまとめ

セシウム-134	: 5.3 (H25/8/ 5) → ND(0.42)	1/10以下
セシウム-137	: 8.6 (H25/8/ 5) → ND(0.57)	1/10以下
全ベータ	: 40 (H25/7/ 3) → 13	1/3以下
トリチウム	: 340 (H25/6/26) → 1.7	1/200以下

注: 海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40(12ベクレル/リットル程度)によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

- ※1: 1のモニタリングはH26年3月以降開始 海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了
- ※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了
- ※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動
- ※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了

港湾外近傍における海水モニタリングの状況 (H25年の最高値と直近の比較)

単位(ベクレル／リットル)、検出限界値未満の場合はNDと表記し、()内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

(直近値 11/18 - 11/26採取)

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1km)】

セシウム-134	: ND (H25) → ND(0.70)	
セシウム-137	: ND (H25) → ND(0.89)	
全ベータ	: ND (H25) → ND(14)	
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.85)	

【港湾口東側(沖合1km)】

セシウム-134	: ND (H25) → ND(0.78)	
セシウム-137	: 1.6 (H25/10/18) → ND(0.70)	1/2以下
全ベータ	: ND (H25) → ND(14)	
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18) → ND(0.85)	1/7以下

【港湾口南東側 (沖合1km)】

セシウム-134	: ND (H25) → ND(0.62)	
セシウム-137	: ND (H25) → ND(0.62)	
全ベータ	: ND (H25) → ND(14)	
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.85)	

セシウム-134	: ND (H25) → ND(0.44)	
セシウム-137	: ND (H25) → ND(0.53)	
全ベータ	: ND (H25) → ND(14)	
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18) → ND(0.85)	1/5以下

【北防波堤北側(沖合0.5km)】

セシウム-134	: 1.8 (H25/ 6/21) → ND(0.67)	1/2以下
セシウム-137	: 4.5 (H25/ 3/17) → ND(0.53)	1/8以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23) → 11	
トリチウム	: 8.6 (H25/ 6/26) → ND(0.89)	1/9以下

【港湾口】

セシウム-134	: 3.3 (H25/12/24) → ND(0.43)	1/7以下
セシウム-137	: 7.3 (H25/10/11) → 0.69	1/10以下
全ベータ	: 69 (H25/ 8/19) → ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 68 (H25/ 8/19) → ND(1.6)	1/40以下

【南防波堤南側 (沖合0.5km)】

セシウム-134	: ND (H25) → ND(0.63)	
セシウム-137	: ND (H25) → ND(0.69)	
全ベータ	: ND (H25) → ND(14)	
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.85)	

セシウム-134	: ND (H25) → ND(0.71)	
セシウム-137	: 3.0 (H25/ 7/15) → ND(0.59)	1/5以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23) → 12	
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25) → ND(0.89)	1/2以下

【南放水口付近】

注: H28年台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側約330mの地点で採取。さらに、H29.1.27から同放水口から南側約280m地点で、H30.3.23からは約320m地点で採取。

注: 海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40(12ベクレル/リットル程度)によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる